

「県民健康管理調査」検討委員会

第2回甲状腺検査評価部会

# 西美和部会提供資料

## 日本人高校生、大学生・院生の甲状腺がん発生頻度

福島県民調査のような対象者全員の甲状腺超音波検査は実施されていない  
 ⇒ 全員に現在の精巧な超音波検査すれば、甲状腺がんもっと多く発見された？

発表者	岡山大	千葉大	慶応大
対象	新入学生	大学生・院生	都内の女子高校生
年度、人数 (全員乳頭がん)	H24年度 男: 1,320人(1人) 女: 987人(2人)	H12年度 9,988人 (3人)	S63~H15年 在学3年間 2,869人 (1年生の1人)
対象者年齢	18±1.3歳	20歳前後	16~18歳
100万人 当たり	男女: 約1,300人 男: 約750人 女: 約2,000人	男女: 約300人	女: 約350人

1年間のみのデータ  
平成25年度: 0人

岡大: 1996~2013年(18年間): 男女合計で100万人当たり52.6人で、女性では98.3人

診断・報告された甲状腺がんの発生頻度	range	平均	歳
100万人当たり(2001-2008年) 国立がん研究センターがん対策情報センター-全国年齢階級別 推定罹患率 <a href="http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html">http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html</a>	3-9人	6.4人	15-19
	14-22人	17.8人	20-24
	15-24	12人	15-24

<p>小児甲状腺がん発生率 病院を受診し診断・報告された小児の甲状腺がん発生率 100万当たり○人</p>	<p>“甲状腺の腫れ”や“しこり”などの訴えで病院を受診し、精密検査で甲状腺がんと診断・報告された数</p>	<p>分母</p> <p>その年代の子どもの人口数(検査を受けていない)0～18歳:各歳で約105万人～120万人</p>
<p>福島県民調査:超音波スクリーニング検査 H25年11月15日検査分まで結果確定者</p>		
<p>男800人、女1600人 男女合計 1,181人</p>	<p>超音波スクリーニング検査された 震災時16～18歳 (検査時18～21歳) 36人(男12,女24)</p>	<p>約280人</p>
<p>男4.8人、女9.6人 男女合計 7.2人</p>	<p>検査時18～21歳の「日本の人口数」 約500万人弱</p>	<p>約2,700万人</p>
<p>100万人当たり</p>	<p>超音波スクリーニング検査された 震災時0～18歳: 269,354人</p>	<p>0～18歳の「日本の人口数」約2,700万人</p>
<p>診断・報告された甲状腺がんの発生頻度 100万人当たり(2001-2008年) 国立がん研究センターがん対策情報センター全国年齢階級別推定罹患率 <a href="http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html">http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html</a> 100万人当たり: 7.2+6.4(福島県以外の全国)=13.6</p>		

## 高校生、大学生・院生の甲状腺がん発生頻度

### 岡山大学 大学生

- 1) 小倉 俊郎、他. 大学新入生健康診断における甲状腺疾患の検討.  
第 13 回日本内分泌学会中国支部学術総会. 米子、平成 25 年 3 月 2 日.  
(総会発表後に、別の女性一人に甲状腺乳頭がんが確認されたので、女性は 2 人に甲状腺乳頭がんが確認された：小倉先生との私信)
- 2) 小倉 俊郎、他. 若年者の甲状腺疾患：大学新入生健康診断によるスクリーニング. 第 56 回日本甲状腺学会. 和歌山、H25 年 11 月 14-16 日

H24 年度の岡山大学新入生男性 1,320 人、女性 987 人(平均年齢 18.3±1.3 歳)の健康診断(問診、診察、触診)で甲状腺腫をスクリーニングし、TSH, FT4, TRAb などと甲状腺超音波検査が必要とされ実施された学生の中で、男性 1 人、女性 2 人に、手術で確認された甲状腺乳頭がんが見つかった。

⇒ **検査人数は少なく 1 年間のみデータであるが、18 歳の 100 万人当りに換算すると男性約 750 人、女性約 2,000 人、男女合計で 100 万人当たり約 1300 人**

- ただ、H24 年度の 1 年間だけのデータであるので、少なくとも数年間のデータが必要である。年度によって 0 人の時もある(小倉先生との私信)
- H25 年度は、0 人である(小倉先生との私信)。
- 岡山大学学生の在学中の 1996~2013 年(18 年間)の健康診断(問診、診察、触診)後に甲状腺超音波検査が必要であるとされた学生での超音波検査と手術で確認された甲状腺がんは、健診受診者男女合計で 100 万人当たり 52.6 人で、女性では 98.3 人である。(小倉先生との私信)
- **触診などでスクリーニングしているので、全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。**

### 千葉大学 大学生・院生

鈴木 弘文、他. (千葉大学保健管理センター).  
CAMPUS HEALTH 37(2): 127-132, 2001

今から 13 年前の 2,000 年度 (H12 年度) の大学生・院生の定期健康検査の受検者 9,988 人 (受検率 65.6%) に対して、触診により甲状腺腫を指摘された 119 人の内呼び出しに応じた 87 人 (73.1%) に甲状腺超音波検査が実施された。4 人 (全員無症状) に手術で確認された甲状腺乳頭がんが見つかった。女性 2 人 (20 歳、22 歳)、男性 1 人 (23 歳) で、一人は 35 歳男性留学生なので、日本人約 1 万人に 3 人となる。

⇒ 20 歳前後の 100 万人当たり男女合計で約 300 人

- 今から 13 年前の触診によるスクリーニング検査である。
- 触診により甲状腺腫を指摘された 119 人の内呼び出しに応じたのは、87 人 (73.1%) で 32 人 (約 25%) が応じていない。もし、呼び出しに応じなかった 32 人全員に甲状腺超音波検査が実施されておれば、もう 1 人位は甲状腺がんが見つかった可能性は否定できない。
- 9,988 人全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。
- 受検者の男女比は記載なし。
- 男女比を 6:4 と仮定して計算すると、女性約 4,000 人中 2 人⇒100 万人当たり約 500 人、男性約 6,000 人中 1 人⇒100 万人当たり約 170 人

### 都内の女子高校生

辻岡 三南子、他。(慶應義塾大学保健管理センター)

慶應保健研究 22 (1) :19-22, 2004.

1,988 年 (S63 年) -2,003 年 (15 年) の入学から卒業までの定期健康診断で、2,869 人に甲状腺触診を行い、結節性甲状腺腫を 6 人に認めた。5 人が専門医療機関を受診し、1 人に手術で確認された甲状腺乳頭がん (高校 1 年生)、が見つかった。

⇒ 検査人数は少ないが、高校生時代 3 年間で、女子高校生 100 万人当たり約 350 人

- 今から 10~25 年前の触診によるスクリーニングであり、全員に、現在のような精巧な超音波器械で検査していたら、甲状腺がんはさらに見つかった可能性は否定できない。

## 診断され報告された甲状腺がんの発生頻度

日 本

国立がん研究センターがん対策情報センター全国年齢階級別推定罹患率  
<http://ganjoho.jp/professional/statistics/statistics.html>

米 国

National Cancer Institute, Surveillance Epidemiology and End Results  
(SEER) Cancer Statistics Review 1975-2010 (Table 26.7)  
[http://seer.cancer.gov/csr/1975\\_2010/results\\_merged/sect\\_26\\_thyroid.pdf](http://seer.cancer.gov/csr/1975_2010/results_merged/sect_26_thyroid.pdf)

上の2つの論文の日本、米国の数字は、甲状腺腫脹とか“しこり”などで、病院を受診し、精密検査で甲状腺がんと診断され報告された数字です。

H26年3月2日

広島赤十字・原爆病院 小児科 西<sup>にし</sup>美和<sup>よしかず</sup>